

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号
 住 所 東京都新宿区西新宿2-7-1
 氏 名 小田急電鉄株式会社
 取締役社長 鈴木 滋 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	小田急電鉄株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市麻生区南黒川7-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	42	鉄道業
主たる事業 の内容	鉄道を使用した旅客輸送の運営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	4,324	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 7,508	(実) 7,830	(実) 8,348	(実) 7,580	(実) 7,285
	(調) 7,356	(調) 7,723	(調) 7,342	(調) 7,580	(調) 7,136
削減率		(実) -4.3%	(実) -11.2%	(実) -1.0%	(実) 3.0%
		(調) -5.0%	(調) 0.2%	(調) -3.0%	(調) 3.0%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原単位等の活動量	延床面積			原単位等の単位	t-CO2/m2
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量原単位等の値	0.05750	0.05596	0.05873	0.05334	0.05579
活動量の値	137,967	139,903	142,122	142,088	-
排出量原単位等の削減率		2.7%	-2.1%	7.2%	3.0%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	川崎市にある当社所有物件の半分弱のエネルギー使用量を占めるエルミロードにおいて、コロナの影響の好転や夏季の猛暑等によりエネルギー使用量が増加したため、全体のCO2排出量が増加したものの。	
第2年度	「小田急ICTセンター」では、電力会社のCO2排出係数が高くなったためCO2排出量が約20%増加した。	
第3年度	2023年度に「アコルデ北館」にテナントとして入居している当社の「沿線事業所」の使用電力量16,585KWh（報告する使用電力量は「アコルデ北館」に包含される）を、誤って二重計上してしまったため、対前年と比べ減少した。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		第1年度ならびに第2年度についてはコロナ禍の反動もありCO2排出量が増加となったが、第3年度「新百合ヶ丘エルミロード」において、エネルギー源をガスから電気に変更した熱源更新工事を実施しCO2排出量削減を図った。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		温暖化による夏季の長期化の影響もあり、今後もエネルギー使用量の増加も懸念されるため、引き続き高効率な設備への更新や運用の検討を実施していく。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>(1) 中長期設備投資計画により対前年度比1%以上の低減を目指していく。 ①照明設備の更新：水銀灯および蛍光灯をLED化する。 ②熱需要の変化に対応できる容量の設備を選定して導入する。 ③ヒートポンプ等の高効率熱源設備へ更新する。 (2) 新百合ヶ丘エルミロードの熱源更新を2021年度～2022年度実施する。 (3) 従業員へ環境目標の周知とともに、省エネ教育を実施する。</p>
<p>第1年度</p>	<p>(1) 中長期設備投資計画により対前年度比1%以上の低減を目指していく。 (2) 夏季の節電対策として冷房の設定温度の適正化、照明の間引きやエスカレータの運転時間の短縮等実施した。 (3) 従業員へ環境目標の周知とともに、省エネ教育を実施する。</p>
<p>第2年度</p>	<p>(1) 中長期設備投資計画により対前年度比1%以上の低減を目指していく。 ・夏季の節電対策として冷房の設定温度の適正化、照明の間引きやエスカレータの運転時間の短縮等実施した。 (2) 新百合ヶ丘エルミロードの熱源更新工事は、工事延期に伴い2024年度に機器更新することになった。 (3) 従業員へ、環境目標の周知とともに環境教育を実施した。</p>
<p>第3年度</p>	<p>(1) 中長期設備投資計画により対前年度比1%以上の低減を目指していく。 ・夏季の節電対策として冷房の設定温度の適正化、照明の間引きやエスカレータの運転時間の短縮等実施した。 (2) 新百合ヶ丘エルミロードの熱源更新工事は、工事延期に伴い2024年度に実施した。 (3) 従業員へ、環境目標の周知とともに環境教育を実施した。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>第3年度「新百合ヶ丘エルミロード」において、エネルギー源をガスから電気に変更した熱源更新工事を実施しCO2排出量削減を図った。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	○	再生可能エネルギーの導入について検討。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
風力太陽光発電	発電能力：5.6kW 導入場所：はるひ野駅	平成16年度
太陽光発電	発電能力：10kW 導入場所：五月台駅	平成17年度
太陽光発電	発電能力：10kW 導入場所：栗平駅	平成17年度
太陽光発電	発電能力：10kW 導入場所：黒川駅	平成17年度
太陽光発電	発電能力：27kW 導入場所：小田急ICTセンター	平成24年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	○	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	他の者の温室効果ガスの排出の抑制に寄与する取組みを行っていますが、定量化できる取組みはありません。
第1年度	定量化できる取組みはありません。
第2年度	定量化できる取組みはありませんが以下の事業を実施しています。 ・入居している店舗(スーパー)にて食品廃棄物を回収し飼料化を実施(この飼料を使って生産した豚肉を同スーパーにて販売、地域活性化にも貢献している。)
第3年度	定量化できる取組みはありませんが以下の取組を実施しています。 ・入居している店舗(スーパー)にて食品廃棄物を回収し、バイオガス発電に利用する食品廃棄物リサイクルを行っています。

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	2024年4月より小田急電鉄で鉄道で使用する電力を再生可能エネルギー100%化したことにより、鉄道電源の電気を使用している一部の駅構内店舗では、CO2排出量が0となった(追加実施)。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	7,508 t-CO ₂	7,830 t-CO ₂	8,348 t-CO ₂	7,580 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	4,312 KL	4,363 KL	4,585 KL	4,324 KL
事業所の数	15	15	15	15

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
新百合ヶ丘エルミロード	川崎市麻生区上麻生1-4-1	3,174	3,728	3,658	3,034

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
アコルデ北館	川崎市麻生区万福寺1-17-1	907	960	977	933
小田急ICTセンター	※※※※	619	681	819	1,032